科目名	文学概論Ⅱ	英文表記	Introduction to Japanese literature Ⅱ	平成29年2月20日
科目コード	5010			
教員名：網谷　厚子 技術職員名：				作成

対象学科／専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全学科	5年	必	学修	2単位	講義	後期

科目目標	1　日本の古典作品から現代までの作品に触れ、「世界」の中での固有性について認識を深める。 2　日本語の特性を最大限に生かし新しいものを生み出す力を身につける。 3　日本文学史の基本的素養を身につける。 【Ⅲ−A】【Ⅷ−A】
総合評価	1　日本文学についての定期試験による評価(50%) 2　課題提出(リポート等)を総合して評価(50%)

科目目標達成度	目標割合		科目達成度目標	達成度目標の評価方法	ルーブリック 理想的な到達レベル（優）	標準的な到達レベル（良）	最低限必要な到達レベル（可）	セルフチェック
	50%	①	日本の古典作品から現代までの作品に触れ、「世界」の中での固有性について認識を深める。(以下同じ、機械A−1・情報.C−3,メディアC−4,生物B−1,C−2)	定期試験の成績による評価	日本文学の固有性について認識を深め、日本文学作品についての深い理解・興味・関心を持つことができる。	日本文学の固有性に気づき、作品について、概ね理解することができる。	日本文学の固有性に気づき、作品について、一部理解することができる。	
	40%	②	日本語で新しいものを生み出す力を身につける	リポートの内容・提出率による評価	自らの考えを十分調査・研究した内容を踏まえ説得力をもっと表現することができる。	調査・研究した内容を踏まえ、自らの考えを表現することができる。	調査・研究した内容を、課題に応じて表現することができる。	
	10%	③	他者を動かす言葉の力を身に付ける	作品の創作による評価	俳句等文学作品を独創的に創作することができる。	文学作品を自らの感受性に基づいて表現することができる。	文学作品の形式に従い作品を創作することができる。	

本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	<本科教育目標> (4) 広い視野と倫理観を備えた人材を育成する。
	○	○		◎	

評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合

	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他（演習課題・発表・実技・成果物等）	総合評価	セルフチェック
評価項目		50		40		100	
基礎的理解	①	50				50	
応用力（実践・専門・融合）	②③			30		30	
社会性（プレゼン・コミュニケーション・PBL）	③				10	10	
主体的・継続的学修意欲	②③			10		10	

授業概要、方針、履修上の注意	1　日本文化の一つである有名な古典作品や、現代の詩・短歌・俳句について素養を深めさせ、独創的な表現へと導いていく。 2　日本語の特徴を理解し、効果的な口頭による表現を、歯切れの良い「滑舌」を身につかせる。 3　以上の内容が主体的・創造的となるように工夫する。
教科書・教材	『日本語の詩学』(網谷厚子著)・『詩的言語論』(網谷厚子著)その他自主編成教材。

授　業　計　画					
週	授　業　項　目	時間	授　業　内　容	自学自習（予習・復習）内容	セルフチェック
1		2			
2		2			
3		2			
4		2			
5		2			
6		2			
7		2			
8		2			
9		2			
10		2			
11		2			
12		2			
13		2			
14		2			
15		2			
期末	期末試験	[2]			
16	日本の古典文学作品の特徴	2	日本の古典作品の特徴について学ぶ。【Ⅲ-A】【Ⅷ-A】	課題について調査する	
17	上代の文学作品Ⅰ	2	上代の文学作品の有名な作品を理解・鑑賞する。【Ⅲ-A】【Ⅷ-A】	課題について調査する	
18	上代の文学作品Ⅱ	2	同上	課題について調査する	
19	中古の文学作品Ⅰ	2	中古の有名な作品を理解・鑑賞する。【Ⅲ-A】【Ⅷ-A】	課題について調査する	
20	中古の文学作品Ⅱ	2	同上	課題について調査する	
21	中古の文学作品Ⅲ	2	同上	課題について調査する	
22	中古の文学作品Ⅳ	2	同上	課題について調査する	
23	中世の文学作品Ⅰ	2	中世の有名な作品を理解・鑑賞する。【Ⅲ-A】【Ⅷ-A】	課題について調査する	
24	中世の文学作品Ⅱ	2	同上	課題について調査する	
25	近世の文学作品Ⅰ	2	近世の有名な作品を理解・鑑賞する。【Ⅲ-A】【Ⅷ-A】	課題について調査する	
26	近世の文学作品Ⅱ	2	同上	課題について調査する	
27	近代の文学作品Ⅰ	2	近代の有名な作品を理解・鑑賞する。【Ⅲ-A】【Ⅷ-A】	課題について調査する	
28	近代の文学作品Ⅱ	2	同上	課題について調査する	
29	現代の文学作品	2	現代の有名な作品を理解・鑑賞する。【Ⅲ-A】【Ⅷ-A】	課題について調査する	
30	「後輩に贈る言葉」の作成	2	「(まだ見ぬ)後輩に贈る言葉」を書く。【Ⅲ-A】	構想を練る	
期末	期末試験	[2]	上記の内容の習熟度を確認する。		
	学習時間合計	30	実時間	22.5	

自学自習（予習・復習）内容（学修単位における自学自習時間の保証）	標準的所用時間（試行）
①　授業の予習・復習	各2時間×15回
②　授業中に指示した課題	各2時間×15回

備考欄

（各科目個別記述）
この科目は全学科共通科目である。
（モデルコアカリキュラム）
・対応するモデルコアカリキュラム（MCC）の学習到達目標については、学習内容およびその到達目標を【】内の記号・番号で示す。

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。（45分＝1、90分＝2）